

第I部

文化と流通

021

第1章

視覚「芸術」における身体——フェミニズムによる美術史の再検討

天野知香

023

第2章

性のヴィジョン 仮想フェミニズム美術館逍遙——一九二〇年代を中心に

グリゼルダ・ポロック 中嶋泉訳

045

第3章

俳句から小説へ——明治的ホモソーシャルティの終焉

キース・ヴィンセント 小畑文・倉田容子訳

069

第4章

戦後少女の本棚——第二次世界大戦後の文化占領と翻訳文学

越智博美

086

第II部

欲望と暴力の表象

103

第5章

『サンセット大通り』を逆走する欲望の未来——フィルム・ノワールのクイア分析

山口菜穂子

105

第6章

武術映画における男性性の逸脱——性とエスニシティのきたす混乱

新田啓子

124

第7章

女の男性性——歴史と現代

ジュデイス・ハルバーシユタム 高橋愛訳

142

第8章

〈暴力〉の表象／表象の〈暴力〉——欲望の再生産とメディア

菅聡子

154

第9章

ジェンダーをほどく

ジュデイス・バトラー……竹村和子訳……………

171

第10章

羞恥のなかに下りて

ジョアン・コプチェク……丹羽敦子・内堀奈保子訳……………

187

第11章

ガヤトリ・スピヴァクとの対話

ガヤトリ・チャクラボルティ・スピヴァク……竹村和子訳 竹村和子／大橋史恵……………

207

第12章

生と死のポリテイクス——暴力と欲望の再配置

竹村和子……………

238

初出一覧

255

著訳者紹介

257